

平成27年第3回定例区議会

代表質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

松本 佳子

複合災害対策について

問 ①複数の災害が同時あるいは連続して発生した場合の対策は②都・区から、約1カ月の間に2種類の防災資料が全世帯へ配布された。区の見解は。また、どう区別し活用すればよいのか。

答 ①専門家の意見を踏まえ検討②都の調整不足。都の資料はあらゆる災害に対する一般的知識を掲載。区の資料は地域に密着した防災情報を掲載。

保育所代替園庭の整備について

問 ①保育所代替園庭として使用されている公園等について、安全面やトイレ等衛生面の改善、乳幼児用遊具の設置等、保育所からの要望への対応は②利用ニーズを踏まえた整備の方向性は。

答 ①園児専用時間帯の設定、乳幼児用遊具の設置、トイレ改修等、整備に取り組む②利用頻度の高い公園等を優先的・計画的に整備する方向で協議中。

26年度決算・財政運営について

問 ①予算執行にあたっての工夫は。今後の財政運営にどう生かすのか②組織内のチェック体制が不十分等、定期監査における指摘事項の改善策は。

答 ①各事業部の目標を明確にし、事業部間の連携を図り、適切に執行。基金を有効活用し、後年度負担を残さないよう運営する②失敗事例集の作成、職員全体の意識改革を行っていく。



新しい千代田

林 則行

九段中等教育学校のあり方

問 ①退学者数と主な理由、事後の対応は②区民枠の受験競争率低下の要因は③進学塾の説明会で学校長が講師として講演。実態把握をしているか。

答 ①9年間で139名。転居や留学、他学校へ進学等。適切な進路を選択できるように指導・助言②選ばれるための魅力づくり・情報発信が必要③塾側の依頼を受け今年度は10回実施。内容は学校説明について。

麴町小学校の図書室閉鎖と今後

問 ①「教育と文化のまち千代田区宣言」を踏まえた現状の認識は②保護者や児童との話し合いは③再整備時期は。

答 ①理念に対する姿勢は変わらないが、児童への影響はある。より良好な環境整備に努める②PTAに対し説明会を複数回実施。教員等から児童へ周知③今後の児童数の変化に応じて研究。

迷惑電話対策と「風ぐるま」

問 ①区内で発生した振り込め詐欺等の特殊詐欺・ニセ電話詐欺の被害総額は②高齢者のいる世帯への対策機器整備を③風ぐるまの路線増設・変更の要望に対する必要手続き・期間は。

答 ①平成26年は16件、約4,440万円②都や警視庁と連携し整備③警察等との協議や法に基づく会議での合意が必要。最大6カ月程かかる。



麴町小学校図書室解体工事中 (27.8.7撮影)

日本共産党区議団

木村 正明

戦争法に関する大問題

問 ①憲法第9条の解釈変更は立憲主義、国民主権の否定。海外での武力行使を可能とする戦争法の区長の見解は②自衛隊への子どもの情報提供中止を。

答 ①憲法解釈等は国会で議論。区は平和交流事業等で平和活動を推進②法令に基づいた閲覧請求には応じる。

マイナンバー制度について

問 ①個人情報の保護措置の一つに保護評価がある。区の作成した保護評価書は、特定個人情報保護委員会の承認を得る必要がある。区の対応は②再委託は指導監督責任を果たせず、業務知識を有する職員が減少するため認められない③国に制度中止の働きかけを。

答 ①地方公共団体は承認が不要②やむを得ず認める場合は、個人情報保護の体制を十分確認し、区の許諾を条件とする③国に適宜要望等を述べていく。

住宅基本計画(素案)について

問 ①借上型区民住宅制度終了の方針見直しを②開発協力金の使途を教育・保育のインフラ整備等にも③区営住宅の収入基準緩和と供給数拡充。家賃助成制度の延長と所得基準緩和。

答 ①支援策について検討②インフラ整備等の活用を図る③基準や供給計画の変更予定はない。助成制度は適宜見直しが必要と認識。

